

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003098	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（工学：機械工学コース）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	才本 明秀／Saimoto Akihide, 矢澤 孝哲／Yazawa Takanori, 小山 敦弘／Koyama Atsuhiko, 田中 良幸／Tanaka Yoshiyuki, 桃木 悟／Momoki Satoru, 坂口 大作／Sakaguchi Daisaku, 下本 陽一／Shimomoto Yoichi, 山口 朝彦／Yamaguchi Tomohiko, 奥村 哲也／Okumura Tetsuya, 山本 郁夫／Yamamoto Ikuo, 近藤 智恵子／Kondou Chieko, 扇谷 保彦／Ogiya Yasuhiko		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	才本 明秀／Saimoto Akihide		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	才本 明秀／Saimoto Akihide, 矢澤 孝哲／Yazawa Takanori, 小山 敦弘／Koyama Atsuhiko, 田中 良幸／Tanaka Yoshiyuki, 桃木 悟／Momoki Satoru, 坂口 大作／Sakaguchi Daisaku, 下本 陽一／Shimomoto Yoichi, 山口 朝彦／Yamaguchi Tomohiko, 奥村 哲也／Okumura Tetsuya, 山本 郁夫／Yamamoto Ikuo, 近藤 智恵子／Kondou Chieko, 扇谷 保彦／Ogiya Yasuhiko		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	工学部1年生（機械工学コース）		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	s-aki▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	工学部1号館4階, 固体力学研究室（ME-A401）		
担当教員TEL/Tel	0958192492		
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎日, 17:40以降		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP-①の”自ら学び、考え、主張し、行動することができる”に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☒ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。（2h） 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する（2h）		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		

教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布
受講要件（履修条件）/Prerequisites	PCは充電の上、授業のたびに持参すること
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、対面とオンデマンドのハイブリッド型で実施します。第1回の授業時に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合があります。その場合は、LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、本科目のシラバスと授業計画、成績評価基準の説明、PCの動作確認 (対面)
第2回	プレゼンテーション実習：自分の出身地や自分が通った小中高校などを紹介するプレゼン資料作成、ビデオを作成とアップロードまで (対面)
第3回	データー処理、グラフの作成講座（作成したグラフを期限までにアップロードする） (オンデマンド)
第4回	講義：機械工学の構成と概要 (対面)
第5回	実習：学習目標の設定、ポートフォリオ入力と確認 (対面)
第6回	講義：関数電卓の用法、有効数字の概念、入力演習 (対面)
第7回	講義：レポートの書き方・提出のルール、プレゼンテーション技法 (対面)
第8回	授業：挿絵の書き方（Inkscapeの使い方）、Inkscapeとgnuplotの連携で、プレゼンに映えるキレイな図を作る (オンデマンド)
第9回	班別プレゼンテーション実施要項の説明、班分けと班別テーマの選定（基本的に1班は4名で構成します） (対面)
第10回	課題調査・班別会議・プレゼン資料作成とリハーサル (対面)
第11回	課題調査・班別会議・プレゼン資料作成とリハーサル (対面)
第12回	課題調査・班別会議・プレゼン資料作成とリハーサル (対面)
第13回	プレゼンテーション資料のアップロード（各班5分×20チームを想定） (対面)
第14回	プレゼンテーションの審査と投票 (オンデマンド)
第15回	優勝チームの発表、個人レポートの作成と提出に関する指導 (対面)

学期／Semester	2023年度／Academic Year 1クォーター／First Quarter	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5, 金／Fri 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/06/11		
必修選択／Required / Elective	必修, 選択, 自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	20230581003099	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（工学：構造工学コース）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	永井 弘人／Nagai Hiroto, 源城 かほり／Genjyo Kahori, 山口 浩平／Yamaguchi Kohei		
授業担当教員名（科目責任者）／Instructor in charge of the course	永井 弘人／Nagai Hiroto		
授業担当教員名（オムニバス科目等）／Instructor(s)	永井 弘人／Nagai Hiroto, 源城 かほり／Genjyo Kahori, 山口 浩平／Yamaguchi Kohei		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等）／Intended year (class)	工学部構造工学コース 1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nagai.hiroto▲nagasaki-u.ac.jp（教務委員・永井） （メールを送信する際は、▲を@に置き換えて送信してください）		
担当教員研究室/Office	工学部1号館6階教員・ゼミ室605（教務委員・永井）		
担当教員TEL/Tel	095-819-2588（教務委員・永井）		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日5校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教員やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP-①の"自ら学び、考え、主張し、行動することができる"に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☒ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習：配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 事後学習：授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する。(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は基本的に対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明
第2回	LACSポートフォリオの説明
第3回	大学における学びとは
第4回	資料収集ガイダンス
第5回	発想法、グループディスカッション法（講義・演習）
第6回	発想法、グループディスカッションの実践1
第7回	プレゼンテーション（講義・演習）
第8回	発想法、グループディスカッションの実践2
第9回	グループ発表・討論
第10回	本コースの育成する技術者像、学習・教育到達目標、JABEE認定の説明
第11回	英語学習システムの使用方法的説明
第12回	リーディング（講義・演習）
第13回	ノートテイキング（講義・演習）
第14回	アカデミックライティング（講義・演習）
第15回	総括

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	金／Fri 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030A1	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（工学）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	森山 雅雄／Moriyama Masao		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	森山 雅雄／Moriyama Masao		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	森山 雅雄／Moriyama Masao		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP-①の”自ら学び、考え、主張し、行動することができる”に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☒ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、対面授業で実施
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス
第3回	個人発表Ⅰ（発表5分＋質問1分）、発表指導
第4回	個人発表Ⅱ（発表5分＋質問1分）、発表指導
第5回	個人発表Ⅲ（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名一組）
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第9回	プレゼンテーションに関する指導
第10回	プレゼンテーションに関する指導
第11回	プレゼンテーション資料の作成
第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	金／Fri 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030A2	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（工学）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	吉川 沙耶花		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	吉川 沙耶花		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	吉川 沙耶花		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP-①の”自ら学び、考え、主張し、行動することができる”に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☒ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式を主体として実施します。 数回、オンライン実施となる可能性があります、その場合は授業中もしくはLACS等で連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	吉川沙耶花／国立研究開発法人東京工業大学・茨城大学での研究業務経験／衛星リモートセンシング分野の環境解析及び水文学分野の数値シミュレーションなどの研究経験を活かして指導する。
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス
第3回	個人発表Ⅰ（発表5分＋質問1分）、発表指導
第4回	個人発表Ⅱ（発表5分＋質問1分）、発表指導
第5回	個人発表Ⅲ（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名一組）
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第9回	プレゼンテーションに関する指導
第10回	プレゼンテーションに関する指導
第11回	プレゼンテーション資料の作成
第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	金／Fri 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030A3	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（工学）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	田中 亘		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	田中 亘		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	田中 亘		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP-①の”自ら学び、考え、主張し、行動することができる”に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☒ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス
第3回	個人発表Ⅰ（発表5分＋質問1分）、発表指導
第4回	個人発表Ⅱ（発表5分＋質問1分）、発表指導
第5回	個人発表Ⅲ（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名一組）
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第9回	プレゼンテーションに関する指導
第10回	プレゼンテーションに関する指導
第11回	プレゼンテーション資料の作成
第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	木／Thu 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030A4	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（工学：電気電子工学コース）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	古里 友宏／Furusato Tomohiro, 松岡 悟志, 丸田 英徳／Maruta Hidenori, 榎波 康文, 松田 良信／Matsuda Yoshinobu, 藤島 友之／Fujishima Tomoyuki, 藤本 孝文／Fujimoto Takafumi, 中野 正基／Nakano Masaki, 石塚 洋一／Ishizuka Yoichi, 浜崎 真一／Hamasaki Shinichi, 柳井 武志／Yanai Takeshi, 森山 敏文／Moriyama Toshifumi, 横井 裕一／Yokoi Yuichi, 田中 俊幸／Tanaka Toshiyuki, 阿部 貴志／Abe Takashi, 大島 多美子		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	古里 友宏／Furusato Tomohiro		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	古里 友宏／Furusato Tomohiro, 松岡 悟志, 丸田 英徳／Maruta Hidenori, 榎波 康文, 松田 良信／Matsuda Yoshinobu, 藤島 友之／Fujishima Tomoyuki, 藤本 孝文／Fujimoto Takafumi, 中野 正基／Nakano Masaki, 石塚 洋一／Ishizuka Yoichi, 浜崎 真一／Hamasaki Shinichi, 柳井 武志／Yanai Takeshi, 森山 敏文／Moriyama Toshifumi, 横井 裕一／Yokoi Yuichi, 田中 俊幸／Tanaka Toshiyuki, 阿部 貴志／Abe Takashi, 大島 多美子		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目, 教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP-①の ” 自ら学び、考え、主張し、行動することができる ” に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☒ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布
受講要件（履修条件）/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、原則対面で実施しますが、状況によっては変更する場合があります。その場合は、LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス
第3回	個人発表Ⅰ（発表5分＋質問1分）、発表指導
第4回	個人発表Ⅱ（発表5分＋質問1分）、発表指導
第5回	個人発表Ⅲ（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名一組）
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第9回	プレゼンテーションに関する指導
第10回	プレゼンテーションに関する指導
第11回	プレゼンテーション資料の作成
第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	金／Fri 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030A5	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（工学）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	相楽 隆正／Sagara Takamasa		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	相楽 隆正／Sagara Takamasa		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	相楽 隆正／Sagara Takamasa		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	工学部工学科化学・物質工学コース1年次のうち、相楽担任クラスの学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sagara▲nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟8F 809室（相楽教授のoffice）		
担当教員TEL/Tel	095-819-2676		
担当教員オフィスアワー/Office hours	午後17:40以降、毎平日（ただし、事前アポイントメント要）		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	・自主的に課題探求ができる。 ・論理的な思考ができる。 1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP-①の ” 自ら学び、考え、主張し、行動することができる ” に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☒ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	◆事前学習（毎回の前に2時間以上）：次の回のための準備学習を行う。その課題は、授業中に説明する。例えば、記憶力テストの準備、三無主義の文献通読、レポートやプレゼンテーション資料の作成など。 ◆事後学習（毎回の後に2時間以上）：授業で取り上げられたテーマについて文献検索などを利用して整理する。	
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力	
教科書・教材・参考書/Materials	教科書（購入して下さい）： 理科系の作文技術（中公新書（624））木下是雄著 新書なら750-800円くらいです。 ◆教科書売り場には無く、書店での個別購入になりますが、講義5回目までには必ず購入し、入手し次第、丸ごとの精読を開始して下さい。	
受講要件（履修条件）/Prerequisites	真摯な受講姿勢	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	この授業はすべて対面で実施します。 変更が生じる場合には、メールで事前にお知らせします。	
学生へのメッセージ/Message for students	メッセージを真剣に受けとって省察し、今後の行動に生かして下さい。 この講義を手を抜かずに受講すると、留年せず、希望研究室配属確率が高まり、就職活動等でも力を発揮できるようになるはずです。 また、大学で学ぶための必要な、主体的学習、コミュニケーション、調査方法、プレゼンテーションなどに関する現在の力を再確認し、弱点を強みに変えてゆく機会になります。臆病にならず、自分の意見を述べて行きましょう。自分の中に設けてしまっているかもしれない「発言を躊躇する障壁」を取り除くことは、一生の潤得です。 「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細／Course Schedule		
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents	授業手法／
第1回	全体ガイダンス 化学・物質工学コースでの学び/教員や職員へのメールの出し方	B C
第2回	資料収集ガイダンス@図書館（予約状況で別日と入れ替える可能性あり）	A B C D
第3回	①プレゼンテーション準備、②自分の特質と可能性を見出す： 徹底的に考えて討論する力	B
第4回	①プレゼンテーション準備、②自分の特質と可能性を見出す： 解析力、図解力、創造力、発表力	A B C D
第5回	①プレゼンテーション準備、②自分の特質と可能性を見出す：記憶力と記憶展開力	B
第6回	①プレゼンテーション準備、②討論「出席管理システムか、名教自然三無主義か」	B C
第7回	①プレゼンテーション準備、②自己紹介： 20秒のCM vs. 1分間で話せること	A B D
第8回	①プレゼンテーション準備、②「理科系の作文技術」基礎事項	B C
第9回	化学・物質工学コース全研究室ツアー	A B C

第10回	①プレゼンテーション準備、②「理科系の作文技術」関係の実践としての事例添削・評価	A B
第11回	①プレゼンテーション準備、②勉学姿勢及び海外の学生と渡り合うための英語力の必要性和実力増進法	B C D
第12回	プレゼンテーション直前準備、発表練習	A B C D
第13回	プレゼンテーション大会実施（1日目）	A B C
第14回	プレゼンテーション大会実施（2日目）	A B C
第15回	プレゼンテーション評価、振り返り、レポート作成指導	B D

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	金／Fri 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030A6	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（工学）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	中谷 久之／Nakatani Hisayuki		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	中谷 久之／Nakatani Hisayuki		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	中谷 久之／Nakatani Hisayuki		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP-①の”自ら学び、考え、主張し、行動することができる”に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☒ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、対面授業で実施します。変更する場合はLACSでお知らせします。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス
第3回	個人発表Ⅰ（発表5分＋質問1分）、発表指導
第4回	個人発表Ⅱ（発表5分＋質問1分）、発表指導
第5回	個人発表Ⅲ（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名一組）
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第9回	プレゼンテーションに関する指導
第10回	プレゼンテーションに関する指導
第11回	プレゼンテーション資料の作成
第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	金／Fri 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030A7	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（工学）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	作田 絵里／Sakuda Eri		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	作田 絵里／Sakuda Eri		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	作田 絵里／Sakuda Eri		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sakueri▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	工学部1号館3階 錯体化学研究室4(コース事務室隣)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2681		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメールにて連絡してください		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP-①の”自ら学び、考え、主張し、行動することができる”に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☒ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は基本的に対面形式で実施します。状況によって変更する場合がありますので、その際はLACS等で連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス
第3回	個人発表Ⅰ（発表5分＋質問1分）、発表指導
第4回	個人発表Ⅱ（発表5分＋質問1分）、発表指導
第5回	個人発表Ⅲ（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名一組）
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第9回	プレゼンテーションに関する指導
第10回	プレゼンテーションに関する指導
第11回	プレゼンテーション資料の作成
第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	金／Fri 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030A8	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（工学）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	大貝 猛／Ohgai Takeshi		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	大貝 猛／Ohgai Takeshi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	大貝 猛／Ohgai Takeshi		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部問い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	工学部工学科化学・物質工学コース1年次生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ohgai▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟6階617号室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2638		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜5校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP-①の”自ら学び、考え、主張し、行動することができる”に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☒ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		

教科書・教材・参考書/Materials	資料等は適宜配布する。 1) ポートフォリオの作成, LACS利用法, 資料収集ガイダンス, プレゼンテーション法・レポート作成などを講義する。 2) 調査活動やプレゼンテーションの方法を指導する。 3) 受講生は, 班内でディスカッションしながら調査・研究を行い, その内容をプレゼンテーションする。 (各クラス3班程度; 1班当り3~4名)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は講義室にて対面形式により実施する。 「化学」「物質」「環境」「エネルギー」「医学」を中心とした分野から設定すること。ただし、詳細は各クラス担任教員から指示する場合がある。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回	シラバスと成績評価基準の全体説明後、各教室に移動
第2回	図書館資料収集ガイダンス(第10回までに)、各教室
第3回	ポートフォリオ(自己評価とプロフィール)の入力。個人テーマに関する資料収集。(次回までに自分の興味あるテーマについて調査する。)
第4回	テーマについて個人発表(テーマを5つぐらい)
第5回	個人テーマに関する資料収集, 個人によるミニプレゼンテーション準備
第6回	個人によるミニプレゼンテーション, 発表指導
第7回	個人によるミニプレゼンテーション, 発表指導, 班分け(3~4名/1班)
第8回	グループ研究テーマに関する調査, 資料収集, グループディスカッション
第9回	研究室見学会(予定)
第10回	プレゼンテーション資料の作成
第11回	プレゼンテーションの練習, プレゼンテーションに関する指導
第12回	プレゼンテーションの練習, プレゼンテーションに関する指導
第13回	最終発表会(全クラス合同発表大会1日目)
第14回	最終発表会(全クラス合同発表大会2日目)
第15回	レポート作成に関する指導

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	金／Fri 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030A9	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（工学）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	山田 博俊／Yamada Hirotooshi		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	山田 博俊／Yamada Hirotooshi		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	山田 博俊／Yamada Hirotooshi		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	工学部 化学・物質工学コース1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-yama▲nagasaki-u.ac.jp（メールをする際は、▲を@に置き換えてください。）		
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟807室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2861		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義前後 その他の時間はメールにて事前に連絡してください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP-①の”自ら学び、考え、主張し、行動することができる”に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☒ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☐ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件（履修条件）/Prerequisites	なし		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面で実施する。 状況に応じて、オンラインでの出席を認める場合がある。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	産業技術総合研究所にて研究員（1年半）を務めた経験をもとに、基礎～実践までを見通した授業を行います。
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	（対面） ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介
第2回	（対面） 文献・資料の探し方、図書館ガイダンス
第3回	（対面） 課題探索・設定、情報収集、整理
第4回	（対面） 個人発表（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名1組）
第5回	（対面） グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション ディスカッション、グループワークの進め方
第6回	（対面） グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション クリティカルシンキング、科学的思考の指導
第7回	（対面） 研究室見学
第8回	（対面） グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第9回	（対面） プレゼンテーションに関する指導 相手に伝わるプレゼンテーション
第10回	（対面） プレゼンテーションに関する指導
第11回	（対面） プレゼンテーション資料の作成 相手に伝わるスライドの作成
第12回	（対面） プレゼンテーションの練習
第13回	（対面） プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	（対面） プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	（対面） レポート作成に関する指導 科学的なレポートとは

学期／Semester	2023年度／Academic Year 前期 ／First Semester	曜日・校時／Day・Period	金／Fri 5
開講期間／Course duration	2023/04/01～2023/09/27		
必修選択／Required / Elective	必修，選択，自由／required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学)／Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード／Time schedule code	202305810030B1	科目番号／Course code	05810030
科目ナンバリングコード／Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名／Course title	●初年次セミナー（工学）／First-Year Seminar		
編集担当教員／Instructor in charge of the course syllabus	澤井 仁美		
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	澤井 仁美		
授業担当教員名（オムニバス科目等） ／Instructor(s)	澤井 仁美		
科目分類／Course Category	教養ゼミナール科目，教養ゼミナール科目，大学院科目[構造]，自由選択科目／Elective Courses		
対象年次／Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態／Course style	演習／Seminar
教室／Class room	学部間い合わせのこと		
対象学生（クラス等） /Intended year (class)	工学部1年生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	担当教員に確認すること		
担当教員研究室/Office	担当教員に確認すること		
担当教員TEL/Tel	担当教員に確認すること		
担当教員オフィスアワー/Office hours	担当教員に確認すること		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	高校までの受動的学習から大学での能動的学習に順応し、自主的に知的活動に取り組み、指導教官やグループメンバーとのディスカッションを通じて工学・科学に関する論理的思考力と倫理観を身につけると共に、口頭発表やレポート作成を通じて技術者（研究者）としての基礎的素養を身につけることをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	1) 自主的に課題探求ができる。 2) 論理的な思考ができる。 3) ディスカッションを通じてコミュニケーションができる。 4) わかりやすい口頭発表とレポート作成ができる。 主としてDP-①の”自ら学び、考え、主張し、行動することができる”に該当する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで）/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☒ 倫理観／Ethics ☐ 多様性の理解／Understanding Diversity ☒ 主体性／Autonomy ☒ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☐ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☒ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☐ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☒ D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	・自主学習の取り組み 30%（課題探求のための計画の妥当性、予習など） ・ディスカッションへの積極的参加 30%（発言しているか、コミュニケーションがとれているかなど） ・プレゼンテーション 20%（ストーリー性はあるか、話し方は適切か、図表が適切に配置されているか、図表は適切に引用されているかなど） ・レポート 20%（レポートの体裁となっているか、文脈は正しいかなど）		
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法）/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	配布された資料を事前に熟読し、毎回の授業内容の理解に努める。(2h) 授業で取り上げられたテーマについて、文献検索などを利用して整理する(2h)		
キーワード/Keywords	能動的学習、理論的思考力、倫理観、プレゼンテーション能力		
教科書・教材・参考書/Materials	適宜配布		
受講要件（履修条件）/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は、原則対面で実施しますが、状況によっては変更する場合があります。その場合は、LACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	「長大生のためのラーニングティップス」 https://www.innov.nagasaki-u.ac.jp/content-result/student/
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細／Course Schedule	
回(日時)／Time(date and time)	授業内容／Contents
第1回	ガイダンス、シラバスと成績評価基準の説明、自己紹介
第2回	文献・資料の探し方、図書館ガイダンス
第3回	個人発表Ⅰ（発表5分＋質問1分）、発表指導
第4回	個人発表Ⅱ（発表5分＋質問1分）、発表指導
第5回	個人発表Ⅲ（発表5分＋質問1分）、発表指導、グループ分け（3～7名一組）
第6回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第7回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第8回	グループ研究テーマに関する調査、資料収集およびグループディスカッション
第9回	プレゼンテーションに関する指導
第10回	プレゼンテーションに関する指導
第11回	プレゼンテーション資料の作成
第12回	プレゼンテーションの練習
第13回	プレゼンテーション大会予選（各クラスから1チームを選出）
第14回	プレゼンテーション大会決勝（各クラスから選ばれた15チームによる決勝）
第15回	レポート作成に関する指導